THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995·96年度国際ロータリー·テーマ　国際ロータリー会長　ハーバート·グラハム·ブラウン

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace

〈本日のプログラム〉

第　401回　平成 8 年 3 月 8 日(金)

3/21. コンペ
3/29 花見
3/22. 社会奉仕委員会

1. 点　　　鐘
2. ロータリーソング
　「　手に手つないで　」
3. 食　　　事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 会員卓話　加藤仙之君
8. 点　　　鐘

会長	藤堂孝一
副会長	斉藤芳夫
幹事	福井輝文
会計	中武靖雄
会報委員長	垂水敏雄

佐土原ロータリークラブ
例会日　毎週金曜日(12:30~13:30)
例会場　ホテル神宮寺　☎0985-73-0015
事務所　〒880-02佐土原町大字下田島7912
（株）福井工務店内☎0985-73-0291

第４００回例会記録

（1996. 3. 1）

☆会長の時間

藤　堂　孝　一　君

皆さん今日は、本日は第４００回例会です。早いもので、会長に就任しまして８ケ月が過ぎました。残る４ケ月の任期を締めくくるために、微力ながら精一杯頑張りたいと思いますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

前回の例会でもお知らせいたしましたが、当クラブにＲＩ財団国際親善奨学生の推薦要請がありました新富町の長友氏は、新富町ライオンズクラブ会長であって、実際は下記の方から同氏を通じて要請がなされた事が分かりました。

ＲＩ財団国際親善奨学生推薦要請者

氏　名	宇都宮由美
	昭和４８年１月２４日生
学　歴	上智大学文学部卒業
	同大学院１年修了
	英文学専攻
住　所	佐土原町大字下田島20092-79
保護者	宇都宮豪男
職　業	宮崎県立宮崎南高等学校
	教諭

ご本人は、イギリスの大学のドクターコースでの研究を志望しています。

早速１９９７～９８年度国際親善奨学生願書を取り寄せ、本人に送付しました。

当クラブとしましても、できるだけ推薦に尽力したいと考えます。

☆幹事報告

福　井　輝　文　君

１．本日は例会変更通知は来ていません。
２．再度ご連絡いたしますが、例会にご出席されたときは必ず各自の文書棚を見ていただき、週報、ロータリーの友、ガバナー月信、配布資料等を受け取ってください。
３．やむを得ない事由で例会を欠席される場合は、クラブ事務所に早目に届けるようにお願いいたします。

☆出席報告

委員長　恒　吉　正　志　君

会　員　数	３２名
ＨＣ出席者数	２４名
欠　席　者　数	８名
出　席　率	７５％
メークアップ者数	４名
修正出席率	87.5%
欠　席　者　名	垂水・大野・宮原・伊東俊

本日のビジター

延岡ＲＣ　稲田義美君
西都ＲＣ　中武兵一郎君
〃　宇治野　稔君
〃　池水利寿君

☆社会奉仕委員会より

委員長　伊　東　忠　寛　君

空き缶等の投げ捨て防止の立看板設置については、例会時に皆さんの同意を得ましたが、看板業者に発注しましたのでご報告いたします。

☆会員増強委員会より

委員長　正岡文郁君

前回の例会は葬儀のため欠席しまして、会員増強委員会の予定を変更していただき、大変申し訳ありませんでした。

藤堂会長も申されましたが、本年度の残り４ケ月間に、どうしても目標である３名の会員を増強しなければならないと考えます。皆さんの心当たりの会員候補者を是非推薦してください。

会長・幹事と共に訪問して、入会勧誘に全力を尽くしたいと思っています。

☆親睦委員会より

委員長　郡司武俊君

◎３月セレモニー

今月誕生日をお迎えになる会員、会員のご令室、及び結婚記念日をお迎えになる会員に、藤堂会長より記念品をお贈りして、当クラブ会員一同心から祝福申し上げます。

◇誕生日お祝い

田村勝二会員ご令室
伊東忠寛会員ご令室
山脇　忍君
神宮寺利夫君

◇結婚記念日お祝い

井下満男君
恒吉正志君
梶田興之助君

☆２月セレモニー受祝者のハッピー・ボイス

誕生日・結婚記念日祝いを戴き有り難うございます。
「継続は力なり」と言われますが、佐土原ロータリークラブの発展のために頑張っていきたいと思います。

濱田松太郎

本日は誕生日祝いを有り難うございました。これからも元気に、楽しい人生を送りたいと思います。
よろしくお願いします。　佐野　保

誕生日のすてきなプレゼントをありがとうございました。

松田いつ子

結婚記念日のお祝いを有り難うございました。すでに２７回目の記念日を迎えた訳です。「光陰惜しむべし、時人を待たず。」との言葉があります。残された人生、その時、その場に全精力を注ぎ込んでいきたいと思います。
即今只今に！　正岡文郁

結婚３５周年記念にすばらしい記念品を戴き、誠にありがとうございました。今後とも「夫婦相和し」に徹し、頑張りますので、よろしくご指導ください。

徳丸彰一・カズ子

ＲＩ第２７３０地区ガバナー・ノミニー海江田順三郎氏より、Ｌ．Ｖ．Ｇｉａｙ次年度ＲＩ会長のテーマの報告が郵送されました。（米国アナハイム発）

『築け未来を　行動力と先見の眼で』

☆会員卓話　梶田與之助君

本日（３月１日）は母の命日で、この日に卓話をさせていただき感激しております。私の店（梶田種苗）は今年で創業７０年を迎えます。

創業者は祖父（母の父）増田甚三郎で、正１４年に京都から宮崎県妻町（現西都市）に転住し、種物屋を開業しました。

その後、祖父は事情があって京都に帰り、母が家業を継ぎました。当時は妻町より佐土原町の方が繁栄し、活気があったので、昭和３年佐土原町に移転しました。佐土原への第一歩となった訳です。

昭和８年に佐土原小学校正門前に店舗を移し、新たな気持ちで行商に精を出したようです。種物屋の商いは春と秋がシーズンで、この頃には遠く西米良や高城辺りまで、自転車で泊まり込みの行商をしたと聞いています。

昭和１４年１１月２８日に私が生まれ、戦争の激化に伴い父は長崎造船所に徴用されましたので、母親と二人暮らしが続いていました。終戦後、昭和２３年には佐土原小学校正門の横に新店舗を開き、昭和２７年頃から農薬の販売も始めました。当時は稲の農薬が主で、ＢＨＣ、マラソン、ホリドールなど、現在は発売禁止になっている農薬が殆どでした。

私は昭和３４年からこの仕事に就いたのですが、口下手で人前に出るのが苦手でしたので、商売よりサラリーマンに憧れ、何時かは家を出て行こうと考えておりました。その年の暮れのある夜、父はくしゃくしゃの百円紙幣での百万円を私に見せて、「この金はお前も一緒になって稼いだ金だよ。」と言いました。それを聞いて私は、自分もやればできるのだと思いました。また、その時に、お客様には誠心誠意接するように、人から信用を受けるように努力せよ、と言われた思い出があります。

その時の百万円は、私を家業に引き留めるためのパフォーマンスであったと後で分かった次第です。

昭和３９年頃からビニールハウスがぼぼつ建つようになり、私の店でもビニール加工業を始めました。毎日弁当持参で農家を回り、コミュニケーションを図りながら、売上の実績を上げるため努力しました。昭和４６年７月に法人化して有限会社梶田種苗店となり、父の梶田磯五郎が代表取締役に就任しました。

悪夢が訪れたのは、その２年後でした。

昭和４８年３月１日に母親が佐土原病院で死亡（６５歳）、３日後の３月４日に父親が自宅で死亡（６８歳）したのです。相次いで両親を亡くしたショックに気が滅入りましたが、何とかファイトを湧かせて頑張るようにしました。

平成３年３月に、宮崎銀行西佐土原支店の前に店舗を新築して、８年目を迎えることになりましたが、農家と親密な関係を保ちながら、共存共栄をモットーに今後とも業務に専念したいと思っております。

私が種物業界に入って今年で３７年になります。この仕事は、種子を生産者に販売して結果がすぐ出るものではなく、早いもので２０日、遅いものでは５ケ月かかるものもあります。しかし私はこの仕事に誇りを持っています。お客様と収穫の喜びを共に味合う時です。（続く）